

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

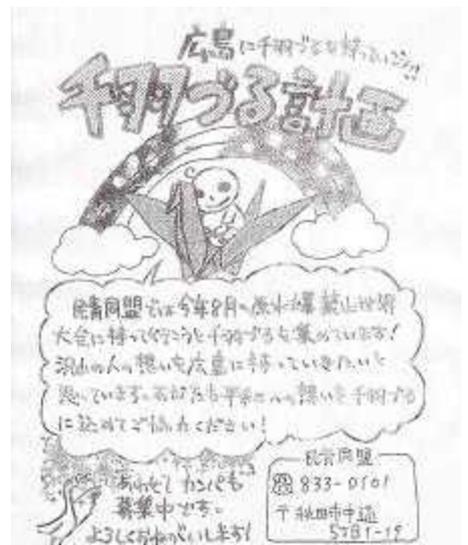
URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年4月11日 No.43

千羽づる
行動

平和への想いを込めた千羽づるを広島へ 秋田高校生

秋田県の青年たちは、8月の原水爆禁止世界大会 - 広島にたくさんの人の想いを持って行こうと千羽づるを集めています。昨年原水爆禁止世界大会に参加したことをきっかけに民青同盟に加盟した高校生のめぐさんは、「長崎で被爆者のお話を聞いたり、ここで一瞬のうちにたくさんの方が亡くなったんだと考えたら怖くなりました。傷の手当をしてもらっている人や、皮膚が焼けただれてしまっている人の写真はリアルで忘れられません」と語ります。帰りの飛行機のなかで被爆地にあった折り鶴のことを思い出し、秋田からも届けたいと思ったものの、どうしたらいいのかわからずにいためぐさん。「せば、民青に入ってやるべ!」というわけで加盟し、青年たちとともに折り鶴計画をスタート。

以来、4千羽を目標に、ピラを作り、駅前で折り紙と一緒に配布するなど大奮闘。「集まった鶴を数えてみたら3千羽もあり『すげー』と感動した」と語るめぐさんは、これからもっともっと増やしていきたいと張りきっています。



地域が熱い! 長野・上小原水協 6・9行動欠かさず、ほぼ毎月ニュースを発行

長野県上小地区の原水協は、6・9行動を欠かさず行っているほか、2月11日には「新春平和のつどい」をひらき、昨年11月の日本平和大会の参加報告やDVD「イラク戦場からの告発」の上映などを通してつどい参加者同士の交流を深めています。DVD鑑賞後は「目を覆う映像があったが、目を閉じてはイラク戦争の実像は見えない」などの感想が出されました。つどいでは上田いずみ合唱団のアトラクションも。また、ほぼ毎月ニュースを発行して、日本平和大会のレポートなども載せて課題や情勢の共有にもつとめています。

基地調査と交流わらび狩り

福岡県原水協は大分県原水協と協力して4月29日(火・祝)に「基地調査と交流わらび狩り」を計画しています。大分県・日出生台演習場を見学し、現地の人びとと交流、昼食とわらび狩り(日出生台)の後、龍門の瀧温泉入浴も。参加費は一般2500円(被爆者・障害者2000円、小学生以下1500円)。参加申し込み、お問い合わせは福岡県原水協(電話・FAX 092-741-9146)まで。

熊本県原水協の6・9行動を記録したDVD「熊本の6・9行動」が、熊本の6・9行動を記録したDVD(同原水協作成)を全県に送ったところ、さっそく新潟県原水協の西潟昇事務局長から連絡がありました。「話には聞いていたが、感動した。さまざまところで活用したい」と話していました。日本原水協ホームページでもまもなく動画がアップされます。

熊本県「6・9行動記録DVD」の反響